

ふたばこども園

園便り 5月号

# 遊びはまなび

令和8(2026)年5月1日発行

文責 園長 松島 正和



※園日より「遊びはまなび」はホームページでもご覧いただけます。

※似顔絵は R7 年度卒園生の作品です

## 給食の調理業務委託を開始しました

ふたばこども園は、長年自園で調理した給食の提供を行ってきました。きめ細かな対応による安全安心な給食の提供は本園の特徴の一つであり、おいしさと共に高い評価を頂いてきたところです。しかしながら、人手不足にともなう今後の持続可能性を検討した結果、外部の力をお借りすることも必要ではないかと考え、5月1日から調理部門を専門業者に委託することといたしました。委託業者は大阪に本社を置き全国にも多数の支社を持つ(株)魚国総本社にお願いしています。魚国さんは佐賀市内の小学校でも複数の学校ですでに委託調理を行っている実績があり、安全で美味しい給食の提供に定評のある業者です。また、これまで本園で調理を行っていた調理師のほとんどがそのまま魚国さんにコンバートして、これまでと同様本園で調理を行い、献立については本園の管理栄養士が行います。そのため給食の内容がこれまでと大きく変わることはなく、より安定して安全な提供ができるようになると思います。保護者の皆さまには、今後保育士体験の際の試食会や食育指導の機会などを設けることでご紹介をしていきたいと思ひます。

## 佐賀工業高校とのコラボレーションを始めます

本園は佐賀女子短期大学の付属園ということもあり、短大はもちろん同じ付属の佐賀女子高校とは保育実習や研修などを通じて連携を深めています。また、佐賀農業高校とは年長児が毎年田植えや稲刈りを体験させていただいたりしていますが、今回佐賀工業高校とも新たにコラボレーションを進めていくことといたしました。



具体的には、機械科学部の生徒さんに早速子どもたちが遊び倒してボロボロになった手押し車を溶接・修理していただきましたし、建築科の生徒さんは、これから課題研究として保育士の要望を聞きながら、保育室に必要な棚やパーテーション等の製作を行ってくださるそうです。

どちらかが一方的に得をすると言うものでなく、本園は費用を抑えながら園に必要なさまざまなものを作成していただくことができ、工業高校の方は生徒さんたちの技術の向上、また学習の一環として地域貢献にも取り組むことができるという、双方に得のある「win-win」の関係を築くことができると思っています。佐賀市中心部に位置する本園のいわば「地の利」を活かしてさまざまな団体と連携を図っていききたいと思ひます。



## PTA「ふたばの会」書面総会へのご協力をお願いします

ふたばこども園のPTA組織「ふたばの会」から、4月27日にコドモンで新執行部のご挨拶と書面総会についての依頼が来ています。今年度も子どもたちのためのさまざまな活動を企画いただいています。書面総会アンケートのメ切は5月8日(金)17時となっています。早めのご回答をお願いいたします。執行部の皆様そして会員の皆様、今年度も子どもたちの笑顔のため、皆様のご協力とご尽力をよろしくお願い致します。



中島ヤス先生

## 5月18日は旭学園の創立記念日です

ふたばこども園の所属する学校法人旭学園は、今からさかのぼること129年前の1897年(明治30年)に、校祖 中島ヤス先生が近隣の子女の切望により家塾を創設されたことが始まりです。

ヤス先生は、太陽の光が万民に等しく降り注ぐように、この学園の教育がすべての子どもたちに公平無私(コウヘイシ)であることを願われて、『旭』と名付けられました。これが『旭』学園の由来です。今年度から旭学園の仲間には武雄アジア大学も加わり、さらに大きな組織となっています。

旭学園では、毎年5月18日を「創立記念日」と定め、「校祖祭」を行うことで(今年度は15日)、ヤス先生の遺徳を偲び、建学の精神を次代に引き継いでいます。